

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 大越香江

提出年月日 平成 23 年 4 月 8 日

【プロジェクト名】

和文：女性医師のキャリア継続のために必要な医師の勤務体系の見直しと医学教育における新たなカリキュラムについての考察

英文：Consideration of New Medical Education and Review of Work System of Physicians Necessary for Strategic Career Advancement of Female Physicians

【メンバー構成】

研究代表者：大越香江

幹事

メンバー：久本憲夫、田邊智子、西村健

【ねらいと目的】（600 字程度）

近年、医師国家試験合格者に占める女性の割合は約 3 分の 1 である。今後女性医師は増加していくと予想される一方で、卒後 10 年頃の離職（出産や育児のためといわれている）により、他職種と同様就業率は M 字カーブを描く。さらに、女性医師は男性医師よりも早くに病院勤務から診療所勤務へシフトするため、今後病院勤務医師不足に拍車がかかると考えられる。勤務医師不足は各地で医療崩壊の引き金となっており、社会的にも重要で切迫した問題である。

平成 20 年度に我々は京大病院の女性医師を対象とした調査を実施し、その実情を明らかにした。さらに平成 21 年度には京大病院の全医師を対象とした調査を行った。今年度は昨年度に実施した調査の集計結果からさらに解析を進め、今後の医療人材マネジメントの考察へと繋げたいと考えている。また、これらの調査研究の過程で医学教育における男女共同参画に関する理解を深めたり医師のライフスタイルについて考えたりする機会がないことが問題ではないかと考えられた。例えば米国の医学部では、新入生 1 人に在學生（高学年）と Faculty が一人ずつ割り当てられ、特に Faculty は、メンターとして学生時代の悩みからキャリアアドバイスまで指導する。日本でも医学生や研修医が医師としての将来のライフスタイルをどう考えるか参考にできるようなカリキュラムや教材が必要ではないかと考え、セミナーの開催や教育ビデオの作成を行いたい。

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

(1) 平成 22 年 3 月に実施した京大病院医師アンケート調査については単純集計、クロス集計が終了し、因子分析・重回帰分析などを行った。

(2) 女性医師に対するインタビュー撮影を行い、動画配信を行う予定で HP を立ち上げ現在運営中である。インタビューに関してはサンプルとして 2 人分の動画を撮影しており、今後も撮影を継続していく予定である。

(3) 平成 22 年 7 月 23 日（金）、日本医学教育学会で「勤務継続のための女性医師支援から戦略的女性医師支援へ」と題した口演発表を行った。

(3) 平成 22 年 11 月 20 日（土）、小規模市民講座「メディカルカフェ@町家」というイベントを

開催し、一般市民と女性医師や勤務医の問題についてディスカッションを行った。



(4)平成 22 年 12 月 8 日（水）、ランチタイムカンファランス「女性医師のキャリアプランについて考える」を開催し、医学部学生、大学院生、研修医、附属病院医師ら 22 名で女性医師のキャリアプランについてディスカッションを行った。



(5)平成 23 年 1 月 28 日（金）、シンポジウム「医療人のワーク・ライフ・バランスと病院のホスピタリティ～京大病院男女共同参画のあゆみ」を開催した。この際、(2)で作成した動画も紹介した。



(6)平成 23 年 3 月 4 日（金）島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室主催の講演会の招聘され、「勤務継続のための女性医師支援から戦略的女性医師支援へ」と題した講演を行った。

【成果の概要】 (800 字程度)

【対象】 今回の調査研究は、女性医師のみにフォーカスするのではなく、広く勤務医、コメディカル、患者、学生など様々な立場の人達に対象を広げた。昨年度までの調査研究より、いわゆる「女性医師問題」は女性医師のみに限定された問題ではないことが明らかになったためである。

【成果公開】

また、成果を広く公開するために研究用 HP を立ち上げて調査結果を公表している。
<http://www.kumwa.kuhp.kyoto-u.ac.jp/index.html> この HP の広報効果は大きく、島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室より講演を依頼されることとなり、情報交換、意見交換のよい機会となった。講演そのものもおおむね好評であった。
http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/wlb/report4/topics_19-1.html で概要が公開されている。

【問題の共有化における困難】

しかしながら一方で、メディカルカフェと題した小規模市民講座においてこの問題を取り扱ったが、一般の方々と医師との意思疎通はかなり困難であった。この問題を社会全体の問題として共有することの難しさが改めて浮き彫りとなった。今後はいかにこの問題について理解を求めていくかが重要である。

【学会活動・雑誌投稿】

昨年度に実施した京大病院医師調査結果の解析内容については、5 月に開催予定であった日本外科学会で公開予定であったが、震災のために学会が中止となってしまったため、外科学会雑誌および日本医師会雑誌に投稿することを目標に論文執筆中である。

【女性医師インタビュー】

主に育児を経た、あるいは育児中の女性医師に対するインタビュー動画を作成中である。研究用 HP で公開予定である。これは学生の教育にも利用可能であると考えている。

【通信欄】

(研究代表者記入)

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	300 (千円)	実績額 300 (千円)

様式 2

最終成果報告書（ワーキングペーパー）のホームページ公開に関する許諾書

研究成果タイトル

女性医師のキャリア継続のために必要な医師の勤務体系の見直しと医学教育における
新たなカリキュラムについての考察

グローバル COE プログラム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」に提出する上記の最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）の PDF ファイルを同プログラムのホームページに公開することについて、下記のように返答します。

2011 年 4 月 7 日

最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）

の執筆者全員のお名前（自署捺印）

記

- 許諾する。
- 部分的に許諾する。
許諾する部分を具体的にご記入ください。
- 下記の理由により許諾しない。
 - 調査対象者の個人情報保護のため
 - その他（具体的に理由をご記入ください）